

## 交換留学生 体験談作文

レイチェル・コナード

(オーストラリア、モナシュ大学)

私はオーストラリア、メルボルンにあるモナシュ大学の学生で、2015年の10月から2016年8月まで交換留学生としてお茶の水女子大学で勉強しました。この作文で、春休みからの留学生活に振り返りをして、思い出に残ったことを紹介します。

最初の半年が少し大変でした。日本に来る前に貯めたお金で生活していたので、あまり出かけられませんでした。しかし、4月から新しいアルバイトができたため、今学期は前より遊べて楽しい生活を送りました。

4月に入ったら旅行会社でブログと翻訳のアルバイトを始めました。始めたばかりのときはわからないことが多すぎて難しかったです。いろいろ勉強ができて日本のオフィス文化がだんだんわかりました。アルバイトを始めた理由はお金でしたが、いろいろなことが学べたので、留学生活の中で大事な経験だったと思います。

そして、東京に住んだことで様々ないい点がわかりました。私の出身地のメルボルンも大きい街ですが、東京は何倍か大きいです。それで、たくさんの国際交流のイベントに参加することができました。それに、日本の全国からの友達も就職活動などのイベントで東京に来たので、再会ができました。

日本でやりたかったことの一つはスキーでした。オーストラリア人として、日本のスキー場が有名で、スキーのためにわざわざ日本に来る人が少なくないです。一番思い出に残ったのは、3月に友達と長野にある白馬に行ったことです。昼間はスキー、夜は温泉や鍋料理でとても充実した旅行でした。

春休みの間に、家族が日本に会いに来ました。私が東京の案内をしたのですが、観光客として東京が見られました。例えば、浅草にある浅草寺や東京スカイツリーと一緒に行きました。

全体的に、交換留学は私にとっていい経験でした。最初の半年は難しいことが多かったですが、今学期を楽しい経験にしてくれた皆さんに感謝しています。



お茶大にはかわいい猫が住んでいます。